

第2学年 算数科学習指導案

指導者 宮原 直子

1 日時 平成22年11月12日（金） 2校時

2 学年 第2学年1組（30名）

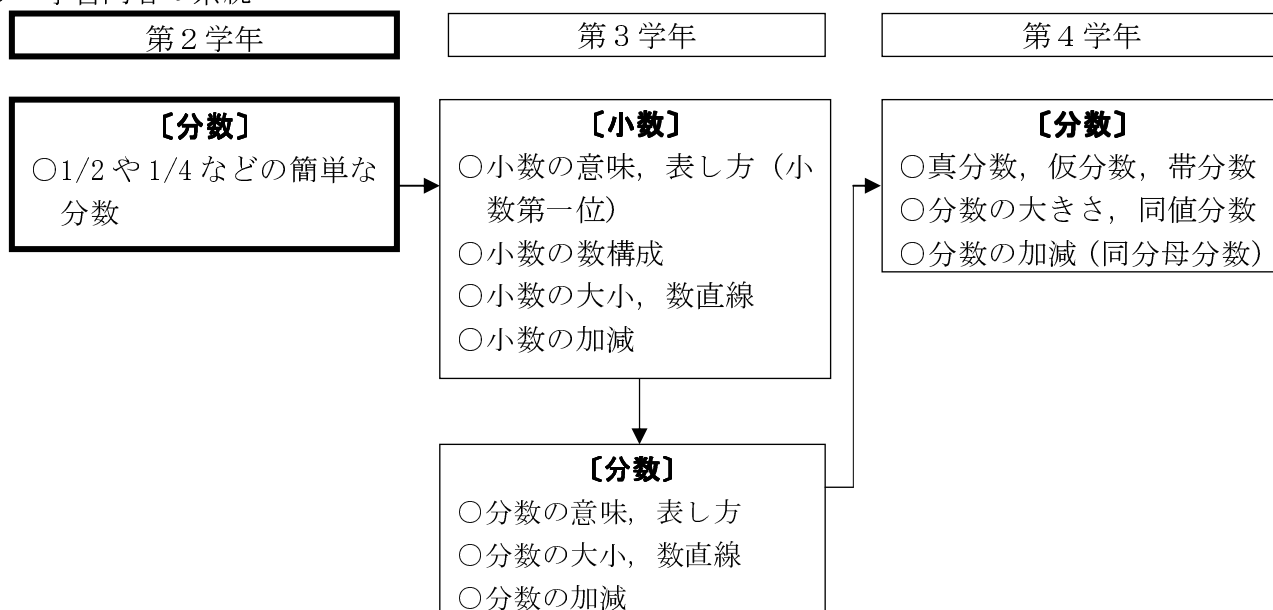
3 単元名 「分数」

4 単元について

本単元は、新学習指導要領において、新設された内容である。主な内容は、 $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{4}$ など簡単な分数について指導し、これからの分数の理解のための基盤となる素地的な学習活動となるようにすることである。1, 2, 3, 4, …などの数を用いると、ものの個数などを表すことができるが、ものを半分にした大きさは表すことができない。しかし、分数を用いると、元の大きさを半分にした大きさを表すことができるようになる。紙を折るなどの具体物を用いて $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{4}$ などの大きさを作ることや、 $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{4}$ などの数を分数と呼ぶことを指導する。分数の意味や表し方については、第3学年から本格的に指導するが、本学年では、分数について理解する上で基盤となる素地的な学習活動を行い、分数の意味を実感的に理解できるようにするのがねらいである。

本学級の児童は、学習に対して最後までまじめに取り組む児童が多く、友達の小さながんばりを認めることができる。考えたことを図や式で表したり言葉で説明したりすることが少しずつできるようになってきた。しかし、言葉で説明するときは、自信がもてないため、声が小さかったり語尾が消えたりしてしまう児童もいる。そこで、ペアトークなどの活動を取り入れ、友達と互いの考えを交流する楽しさを感じられるように指導している。

5 学習内容の系統



6 単元の目標

【関】分数の意味や表し方に関心をもち、進んで活用しようとする。

【考】具体物を等分することによって、さまざまな大きさの分数を考えることができる。

【表】等分してできる部分の大きさを、分数を用いて表すことができる。

【知】いろいろな分数の表し方とその意味が分かる。

7 指導計画（全 4 時間 本時 1／4）

小 単 元	学 習 内 容	評 価 の 観 点				
		関	考	表	知	◎の具体的内容
分 数 (3)	- 紙を同じ大きさに 2 つに分ける折り方を考える。 1/2 の大きさや分数の書き方を知る。(本時)				◎	いろいろな 1/2 を作ることができる。
	- 折り紙を 2 回折って、同じ大きさに 4 個に分ける。 - 分数という用語を知る。			◎	○	折り紙を折って、同じ大きさ分けることができる。
	- もとの長方形の大きさの 1/4 に色を塗る。 - 色がついたところが全体の何分の一かを考える。	○		◎		色のついたところがもとの大きさの何分の一かを求めることができる。
(1) 力 だ め し	既習事項の確かめをする。					

8 本時の授業設計の焦点

○実際に紙を折って、分数の意味を実感的に理解させるような学習課題を設定する。

本単元は、分数について理解する上で基盤となる素地的な学習活動を行い、分数の意味を実感的に理解できるようにすることがねらいである。児童は、日常生活の中で、一つのものを半分に分けたり、複数のものを半分に分けたりするということは経験している。

本時では、円形のケーキの写真を提示し、児童の日常経験から、半分に分けられるかどうかを考えさせる。さらに、ケーキと同じ大きさの円の紙を実際に折って、半分に分ける。分けた後で「半分」について考えさせ、「半分」は同じ大きさに分けること、ぴったりと重なることを押さえる。その後で、本時の学習課題を提示する。

児童一人一人が、正方形、長方形、三角形などいろいろな形や大きさの紙を実際に折って半分に分けていく。分けたものは、ぴったり重ねてみたり、ペアトークで確かめあったりして、半分に分けられたかを確認する。

その後で、1/2 の意味や読み方、書き方を知らせることで、1/2 について実感を伴った理解ができると考える。さらに、どの 1/2 も同じ大きさかどうかを考えさせることで、元の大きさに着目して 1/2 をとらえられるようにしたい。

9 本時の目標

1/2 の意味を理解することができる。

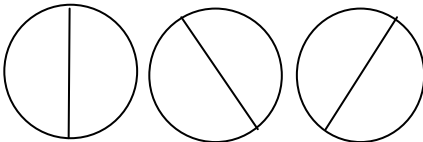
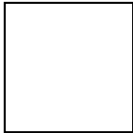
10 本時の評価規準

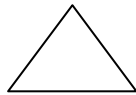
十分満足できる状況	○元の大きさや形に着目して、1/2 の意味を理解することができる。
概ね満足できる状況	○1/2 の意味を理解することができる。
努力を要する状況の児童への手だての例	○ケーキの写真を実際に2つに分けてみることで1/2 の大きさのイメージをつかめるようにする。

11 準備物

ケーキの写真，円・正方形・長方形・三角形などの紙，はさみ

12 本時の学習展開

学習活動（発問・活動）	予想される児童の反応	支援・評価
1. 課題をつかむ。 ・円いケーキの写真を見て，半分に分けられるか考える。 ・ケーキと同じ大きさの円の紙を折って，半分に分ける。 ・半分について考える。	・縦に切るといい。 ・横に切る。 ・真ん中で切るといい。 ・半分に分けた。  ・半분이2個できている。 ・同じ大きさになっている。 ・ぴったり重なる。	☒ 児童がイメージをつかみやすいように実際に分けてみせる。
紙を半分に分けてみましょう。		
2. 自分で考える。 ・正方形の紙や長方形の紙・三角形の紙を半分に分ける。 	・真ん中で折ってみよう。 ・半分になるかな。 ・同じ大きさになるかな。	☒ 学習課題を確実に理解させるために紙を提示する。

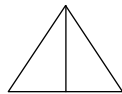
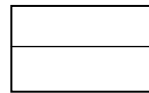
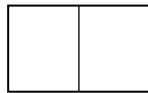
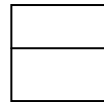
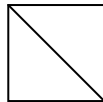
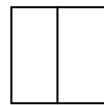
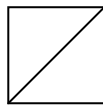


- ・ペアトークをする。

3. みんなで考える。

- ・正方形の紙や長方形の紙・三角形の紙の半分を出し合う。

- ・元の大きさはこれで、半分はこれです。(指さしながら)



支 同じ大きさということを実感できるように、半分に分けたものを重ね合わせる。

支 半分に分けた1つ分は、元の大きさの半分になっていることに気付かせる。

支 半分の形が違っていてもよいことを確認する。

- ・ $1/2$ の意味や読み方、書き方を知る。
「同じ大きさに2つに分けた1個分の大きさを、元の大きさの『二分の一』と言い、 $1/2$ と書きます。

- ・いろいろな $1/2$ について、考える。

4. 学習をふり返る。

- ・今日の学習をまとめる。

- ・全部 $1/2$ だけど、大きさは違う。
- ・元の大きさによって、 $1/2$ の大きさも変わる。

- ・半分に分けて、 $1/2$ を作ることができた。
- ・元の大きさが大きいと、 $1/2$ も大きかった。

いろいろな形や大きさの紙を実際に半分に分けた後で、 $1/2$ の意味や読み方、書き方を知ること、 $1/2$ について実感的に理解できるようにする。

支 $1/2$ の大きさは元の大きさによって違うことに気付かせる。

・ 振り返り カードを記入する。	・ 半分の新しい言い方を知った。	【知】 いろいろな $1/2$ を作り, $1/2$ の意味を理解することができる。
-------------------------	-------------------------	---